

令和5年度学校評価(年度末評価)

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>① 教育目標にある「知性ある社会人、品格ある教養人、気力ある生活人」の育成に向けた教育活動を充実させる。 ② 「文武両道」を基本理念として、学習、学校行事、部活動、ボランティア活動等への主体的な取組を推進する。 ③ 本校の特色を生かした教育課程を編成するとともに、新たな大学入試に対応した進路指導体制を整え、第一希望進路の実現を目指した指導を充実させる。 ④ 自他の命を大切にし、よりよい社会を実現しようとする態度を養うとともに、健康や安全、防災にかかる意識の向上を図り、将来にわたって健康かつ安全に生活するための知識や態度を養う。 ⑤ 男女共同の社会参画を目指し、支え合う社会の一員として個性や能力を発揮する意欲、態度を養う。 ⑥ 生徒一人1 端末の活用したICT教育の充実を目指し、情報モラル等規範意識の確立を図り、望ましい社会性と公正さを重んじる心や態度を養う。 ⑦ P T A、同窓会、地域との連携を図り、情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する。 ⑧ 事務処理の効率化、年次休暇取得の推進など多忙化防止への取組を推進し、職員の健康の保持増進や働き方改革を推進する。</p>	<p>B</p> <p>アンケートの結果から、学校全体の目標に関しては概ね達成されている状況であるが、厳しいご意見もいただいている。現状に甘んじることなく、今後も、学校の安心、安全に積極的に取り組むとともに、生徒の健康管理に留意し、充実した学校生活を送ることができる教育環境の整備に努めていく。 教育目標達成のために、日ごろの授業を重視し、部活動や学校行事とのバランスを図りながら、学力の向上とともに人間力を高め、知性・品格・気力ある生徒の育成を図る。 教育活動の様々な場面で全職員が常に高い意識とモラルを保ち、情報の共有をしながら指導していく。</p>			
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項	評価	課題
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止 (管理職)</p>	<p>在校時間等調査の活用による健康管理 職員の健康障害防止のための環境整備</p>	<p>・在校時間等の状況記録を活用し、業務の適正配分に留意するとともに、教職員の良好なメンタルヘルスの保持に努める。 ・教職員の年次休暇の計画的な使用を推進するための環境整備に努める。</p>	<p>・在校時間等の調査記録が1ヶ月80時間を超える教職員については、面接指導調査の希望の有無や健康状態の確認を行う。また、退校時間を一定に定め、校舎の施設時間を徹底する。 ・年次休暇の計画的取得は勿論、普段の声かけ等を通して健康状態の把握に努め、必要時に休暇取得の申請がしやすい環境を整備する。</p>	<p>B</p>	<p>・在校時間の多い職員には日頃から声をかけて健康に留意するよう促したが、時期により特定の職員に業務が集中する傾向があるため、業務の適正な配分や会議内容の精選等についてさらに改善する必要がある。 ・平常時は職員室を施設するおおよその時刻を決めて声かけを励行し、在校時間は昨年度より減少した。定時退校日の適正化、年休取得の促進等に引き続き努めていくことが必要である。また電話対応時刻の設定により、勤務時間の適正化を図ることができている。引き続き超過勤務の削減に努めていきたい。</p>
<p>地域連携(総務部)</p>	<p>校内施設・備品等の整備 P T A・同窓会・地域との連携</p>	<p>・P T A活動の活性化と教職員との連携強化 ・校内施設の整備 ・防災対策の推進 ・式典実施方法の検討</p>	<p>・保護者へ積極的に情報を発信し、P T A活動の円滑な運営を補助する。 ・老朽化した物品や施設等の修理、整備を行う。 ・防災意識の向上、式典の充実を図る。</p>	<p>B</p>	<p>・保護者への情報発信を、より迅速丁寧に対応したい。 ・P T A総会、P T A講演会、研修旅行など諸行事を役員、理事の方々に協力して頂き円滑に運営することができた。また、P T A常任理事会では活発な意見交換がされ、関心の高さが伺われる。 ・年々減少していく県からの予算配分の中、各分掌、教科の備品をできる限り要望に応えることができた。 ・次年度のクラスに対応した整備を適切に継続していきたい。 ・情報や担任の先生方の協力により、teamsによる始業式、終業式を実施することができた。</p>
<p>学習指導(教務部)</p>	<p>学習活動の充実 I C Tの活用</p>	<p>・予習、授業、復習、演習という学習習慣の定着 ・I C T機器の積極的活用を図る</p>	<p>・生徒の個別能力に合わせたきめ細かな指導を行い、自ら学習する習慣の確立を図る。 ・I C T機器の使いやすい環境を整える。</p>	<p>A</p>	<p>・多くの生徒が、主体的に学習に取り組むことができている。しかし、学習時間が不十分な生徒もいるため、引き続き主体的に学習することの大切さを伝えていきたい。 ・授業においてタブレットを含むI C T機器の活用が増えた。来年度は「あいちラーニング主幹校」となる。引き続きI C T機器活用ができる環境整備に努め、I C T機器活用の研究を行っていきたい。</p>
<p>進路指導(進路指導部)</p>	<p>第一志望校現役合格を目指した「進路指導体制」の充実</p>	<p>・学力伸長の体制づくり ・学力の正確な把握 ・進路情報の提供と共有</p>	<p>・進路L T・補習を充実させる。 ・校外模試の分析の活用を図る。 ・各学年における必要な進路情報の収集と提供・共有。</p>	<p>A</p>	<p>・進路L Tについては、現在実施している内容を精査し、より充実した内容となるように努めていきたい。 ・補習は充実した内容となっている。来年度以降も継続できるよう努めていきたい。 ・校外模試の分析を依頼する時期が遅くなり、タイムリーな還元ができなかった。学習指導に活かしてもらえるように来年度は分析依頼を速やかに進めたい。 ・令和7年度入試に向けて情報を集め、共有していきたい。</p>
<p>生徒指導(生徒指導部)</p>	<p>基本的生活習慣の確立 規範意識・モラル・マナーの向上</p>	<p>・遅刻防止指導、交通安全指導 ・服装、身だしなみの指導 ・挨拶の励行 ・情報モラルの教育 ・校内Wi-Fiのルール作り</p>	<p>・学校生活のみならず、社会生活を営む上で必要な基本的生活習慣を身につけさせる。 ・情報モラルに関する知識を身につけさせ、危機管理能力の向上を図る。 ・いじめの情報を全教職員で共有し、学校全体の問題として事案に対処する。</p>	<p>B</p>	<p>・基本的生活習慣において「時間を守る」ことについては、毎朝登校指導を行い8時20分登校の徹底に努めた。全体的には良好であったが、時間ぎりぎり登校する生徒も多く、交通安全の観点からも時間に余裕のある行動に努めさせたい。また、体調不良による遅刻も増加しており、指導の難しさを感じている。 ・情報モラルについては4月に1年生対象に情報モラル・セキュリティ講座を開講しているが、必要に応じてその都度行っていきたい。 ・11月にいじめについてのアンケートを行い、情報の共有を図ることができた。(認知件数0)</p>
<p>生徒指導(生徒会部)</p>	<p>学校祭の充実</p>	<p>・企画時の情報発信 ・H R、部活動との連携の強化 ・委員会活動の充実</p>	<p>・生徒が主体となってつくる充実した学校祭となるように情報発信の内容を検討し、適切なタイミングで発信するように努める。 ・教員間や生徒との共通理解を得るべく、積極的に情報交換を行い、改善に努める。</p>	<p>B</p>	<p>・昨年度に引き続き、新型コロナの感染状況を見ながらではあるが、何とか球技大会や文化祭・体育祭を開催することができた。生徒が主体となって創意工夫を重ねて準備・運営を進められた。生徒や生徒会部の教員、その他の教員との情報交換を密にし、共通理解をもつことでより充実した学校祭となるようにしていきたい。</p>
<p>読書指導(図書部)</p>	<p>図書館利用の促進</p>	<p>・図書委員会の活性化 ・読書推進活動の充実</p>	<p>・図書委員が主体的に活動できるように支援する。 ・教科や学年とも連携を図りながら、生徒への読書指導及び図書館利用の働きかけを積極的に行う。</p>	<p>B</p>	<p>・来館者数、貸出冊数は例年並みであるが、今年は2年生の利用が多かった。貸出ジャンルは国内の現代小説のほか、古典的な作品や社会科学・自然科学系の新書など多岐にわたっている。また、ブックフェアやポップコーナーなどの特集本はよく借りられた。図書委員はそれぞれの役割に責任をもって取り組み、活発に活動したほか、昨年度に続き有志生徒による図書館活動への参加もあった。次年度も、引き続き生徒の読書意欲の喚起及び図書館活動の活性化に努めるとともに、教科や学年と連携を図り、生徒の図書館利用をいっそう充実させていきたい。</p>
<p>保健・安全・美化指導(保健部)</p>	<p>心身の健康と安全な学習環境の構築</p>	<p>・健康診断と保健指導の充実 ・安全な環境指導・改善 ・心身の健康管理の支援の深化</p>	<p>・健康診断の結果を活かし、適切な健康管理を行う。 ・迅速に情報を収集し、個々に適した保健指導を行う。 ・ゴミの分別とリサイクルを推進し、一層の校内美化を目指す。 ・安全点検を毎月実施し、危険箇所の早期発見と修繕に努め、安全な環境をつくる。</p>	<p>A</p>	<p>・養護教諭による睡眠検診プロジェクトの実施や、保健委員による保健だより“睡眠特集”などを通して、睡眠の重要性を生徒に伝え、生活習慣の改善を呼びかけた。 ・教員間の生徒情報共有を徹底し、生徒への適切な支援を検討し実施した。今後も教員間の連携を密にとり、組織的に取り組んでいきたい。 ・文化祭での資源ごみ回収の重要性を環境美化委員に指導することで、クラス内でのごみの分別作業を徹底することができた。今後もゴミの減量・分別を徹底していきたい。 ・校舎の老朽化が進んでおり、安全点検の重要性が高まっている。臨時の安全点検も実施したが、次年度以降も危機管理意識をもち、入念に安全点検を実施していくことが必要である。</p>
<p>生徒指導(1年)</p>	<p>当たり前のレベルアップ</p>	<p>・挨拶の励行と環境美化意識の育成 ・学習習慣を定着させる学習指導の実践 ・個人面談の実施</p>	<p>・部活動や学校行事等への積極的な参加を促す。 ・自己の適正や興味関心を探らせ、学習意欲を喚起する。 ・養護教諭等との連携を密にする。</p>	<p>B</p>	<p>・多くの生徒が挨拶や清掃に意欲的に取り組んでいる。また、学習や探究活動においても、生徒一人ひとりが自己と向き合い、努力を重ねている。全体として良好な高校生活を送っているが、主体性をさらに引き出し、生徒の諸活動を深化させていきたい。</p>
<p>生徒指導(2年)</p>	<p>自主性から主体性へ</p>	<p>・意欲的な学習習慣の育成 ・学校行事などへの積極的な参加 ・好ましい社会性の育成</p>	<p>・授業や課題を最大限に活用し、基礎学力の定着を図る。 ・計画を立てて自ら学ぶ姿勢と家庭学習の習慣をつけさせる。 ・行事などを通して、社会性を身につけさせる。 ・品格ある行動を意識させる。</p>	<p>B</p>	<p>・全体としての授業や行事への取組は大変よく、成長できたと感じる。学習面での取組も少しずつ真剣味を増してきたが、未だ習慣づけができていないなど問題を抱えている生徒も多い。受験に向かう中でストレスを抱えたり、人間関係で苦悩している生徒もみられる。学習面でも精神面でも進路実現に向けてより一層の支援・指導をしていきたい。</p>
<p>生徒指導(3年)</p>	<p>個性に応じた進路指導</p>	<p>・受験に対応した学力の育成 ・生徒理解・適切な対応 ・行事参加と受験への切り替え</p>	<p>・授業や補習などを最大限に活用し、受験に対応できる学力の伸長を図る。 ・生徒に応じた進路指導を通して、進路実現を図る。 ・主体的に学習できる力を育成する。 ・3年生としてふさわしいリーダーシップを発揮し、主体的に行動させる。 ・受験への切り替えをしっかりとさせる。</p>	<p>A</p>	<p>・3年生になって部活動での取組は大変すばらしく、多くの生徒が結果につながる事ができた。 ・行事での活躍も(合唱への参加などもあり)非常によく、主体的に行動できていた。 ・受験への切り替えも集会などのほたらき掛けもあって、しっかりとできた。模試の結果の推移を見ても2学期後半の伸びや苦手教科の克服など、努力が結果につながっていることがわかる。 ・受験の多様化や不安感やストレスから変調をきたす生徒たちの増加など、様々な対応が求められる中、個々に応じて適切な指導や対応ができた。</p>
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>	<p>・学習指導の充実について</p>	<p>・進路指導の充実について</p>	<p>・生徒指導の充実について</p>		

【評価基準】 A：十分達成(満足)している B：ある程度達成(満足)している C：どちらともいえない D：あまり達成(満足)していない E：まったく(満足)達成していない